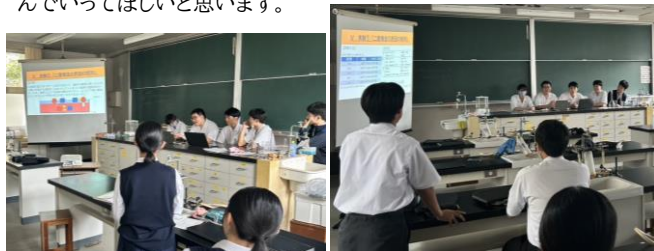


理数科2年分野別課題研究発表会(10/18)

理数科2年生で実施しています「分野別課題研究発表会」、SSH採択以前からこの時期に開催していました。次年度からは形を変えますが、今回は他校とのオンライン交流にもチャレンジしました。

今回は初の試みで、連携協定校である鹿児島県立国分高校の生徒さんにも本校の発表にオンライン参加していただきました。国分高校は探究発表で数々の賞も受賞しており、発表会でも質問等が飛び交う探究活動が活発な学校です。そんな国分高校の生徒さんにプレゼンテーション発表を見ていただくということで、生徒たちも緊張感もって準備してきました。慣れないオンライン発表でしたが、何度もリハーサルをした甲斐もあり、発表・質疑応答も無事に終えることができました。国分高校さんには、今回設定していた時間を延長して発表を視聴していただきました。ありがとうございました。今後、更に交流が進み、自然科学部の分野や探究のテーマごとの意見交換が生徒間レベルで進んでいってほしいと思います。



理数科2年課題研究発表会(10/25)

前述の「分野別～」で決定した各分野の代表班によるプレゼン発表会、「課題研究発表会」を翌週に開催しました。上位チームは本校代表として県大会に出場します。重要な発表会です。

物理・化学・生物・地学・数学の各分野で選出された代表班が、理数科1・2年および附属中学3年の前でプレゼンテーション発表を行いました。今回の発表会では、たくさんの質問と発表者による分かりやすくはっきりとした回答で、例年になく活発な質疑応答ができました。

- 結果は
- 1位 BZ反応における二層構造の解明と反応制御
  - 2位 チドメグサと止血効果
  - 3位 航空機の推力について

3月の県大会に向けて、さらに研究を深めていって下さい!



「SSH実験教室&エンジニアリングカフェwithアマテラス」  
in都城泉ヶ丘高校(10/19)

今回のイベントは女子中学生に理系分野への関心を高めてもらうことを目的としており、都市市内の女子中学生24名に参加していただきました。実験教室では宮崎大学工学部教授 吉野賢二先生にお越しいただき「日焼け止めは、本当に紫外線をカットしているの?」というテーマのもと、4つのグループに分かれて、紙幣に使われている加工を紫外線で見たり、日焼け止めの紫外線カット効果が製品によって異なることを検証しました。それぞれ班には本校の女子生徒と宮崎大学工学部の大学生がサポートにつき、優しくアドバイスしてもらったりしながら一緒に楽しく学びました。

普通科2年「郷土探究」中間発表会(10/18)

SSHプログラムではありませんが、従来型の探究活動である普通科2年の「郷土探究」。その中間発表会が10/18(金)に開催されました。総合的な探究の時間では、都城市役所のサポートを受け、地域課題解決型の探究を令和元年度から実施しています。先輩方の探究の成果を年々更によりよいものへ進化させ、次年度、SSH I期生からは、データサイエンス的手法や統計学を含めた分析を行うことで、より科学的なものへ変更していく予定です。活動時間も長くなります。

今年度は、「『人口減少から人口増加へ』都城市の人口減少対策」(人口減少対策課)、「都城市のLINE活用」(秘書広報課)、「日本のひなた宮崎 国スポ障スポに向けたオール都城市の取組について」(国スポ・障スポ推進課)、「国際交流と多文化共生」(国際化推進室)、「カーボンニュートラル～持続可能な森林づくり～」(森林保全課)、「若者世代から見た保育士について」(保育課)、「中心市街地の活性化」(商工政策課)、「都城市の宝に光をあてよう!～地域の歴史資料活用～」(文化財課)、「地域医療体制の確保」(健康課)というテーマで、9部署にサポートいただいております。中間発表会には、総勢20名の市役所担当者に足を運んでいただき、探究の途中経過をプレゼンテーションしました。積極的な校外活動やアンケート調査などを行い、現時点で方向性が定まっている班もありましたが、ほとんどの班が今回のアドバイスを参考に、さらに深めなければなりません。これから後半戦、課題解決のために努力していきましょう!



また、後半のエンジニアリングカフェでは、会場を変更し、美味しいケーキを食べながら大学生と高校生、中学生が進路や大学生活について和やかな雰囲気の中でお話をしました。今回の体験や大学生とお話のなかで、中高生は進路について考えることができたのではないかと思います。宮崎大学工学部吉野先生、大学生の皆様、今回は貴重な時間をありがとうございました。

